

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の構築に向けた検討

AI戦略2019(令和元年6月:統合イノベーション戦略推進会議決定)抜粋

<具体目標>

- 文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・A Iを習得
- 文理を問わず、一定規模の大学・高専生（約25万人卒/年）が、自らの専門分野への数理・データサイエンス・A Iの応用基礎力を習得
- 大学・高専の卒業単位として認められる数理・データサイエンス・AI教育のうち、優れた教育プログラムを政府が認定する制度を構築、普及推進

<取組>

- 認定制度創設に向けて、企業・大学・高専・高校等の関係者による議論の枠組みを設置し、認定方法やレベル別の認定基準、産業界での活用方策等を検討（2019年度）
- 検討結果を踏まえた認定制度を構築し、コース認定を開始（2020年度）



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度検討会議

大学・高専・産業界等の有識者から構成される検討体制として、同会議を設置（2019年10月）。

2020年度からの本認定制度の運用開始を目途に、認定方法、認定基準、産業界での活用方策等を検討を開始。

- ✓ リテラシーレベル： 2020年度からの運用を目標に、制度全体の設計を検討。
- ✓ 応用基礎レベル： 2021年度からの運用を目標に、基本方針を検討し、今後の論点、検討事項を特定。

A I 戦略の検討・実行体制

C S T I

I T 本部

知財本部

健康・医療
本部

宇宙本部

海洋本部

各省庁

統合イノベーション戦略推進会議

議長：官房長官、議長代理：科技大臣

報告 ↑ ↓ 指示

有識者会議 (AI戦略実行会議)

- 座長：安西祐一郎
- 構成員 北野宏明、神成淳司

提言



イノベーション政策強化推進チーム

- チーム長
和泉総理大臣補佐官
- 構成員
各司令塔・各省庁局長・審議官級
- 事務局（イノベーション推進室）

報告 ↑ ↓ 承認

報告 ↑ ↓ 承認

報告 ↑ ↓ 承認

報告 ↑ ↓ 指示

人間中心の A I 社会原則会議

- 議長：須藤修
- 副議長：北野宏明

数理・データサイエンス・AI教育プログラム 認定制度検討会議

- 座長：永田恭介
- 副座長：安宅和人

AIステアリングコミ ティー

- 座長：北野宏明
- 副座長：安西祐一郎

A I 戦略 T F

- 関係司令塔・関係省庁の指定職/管理職
- 関係司令塔
C S T I、I T、健康医療、知財、宇宙、海洋
 - 関係省庁
総務省、文科省、厚労省、農水省、経産省、
国交省、環境省、防衛省、個情委

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度創設等に向けたスケジュール

2018年度

2019年度

2020年度

2021年度

AI戦略2019 策定

(2017年度～)
数理・データサイエンス教育強化
拠点コンソーシアム

(2019年夏)
サンプルモデルプログラム募集
〔内・文・経〕
・大学・高専の既存プログラムを広く募集

(2019年度)
企業・大学・高校関係者による
認定制度設立にむけた検討〔内・文・経〕
【検討内容】
・認定における審査方法等
・認定基準の策定
(リテラシーレベルを中心に)
・産業界での活用方策

(2019年度末)

検討結果まとめ

応用基礎レベル認定検討

(2020年度末頃)

検討結果まとめ

事例をインプット

検討結果を反映

検討内容をインプット

(～2020年春)
検討結果を踏まえ
制度を構築

検討結果を反映

認定制度構築

(2020年度春頃～)
制度構築・周知
(夏頃～)
公募
(2020年度内)
**第1回認定
(リテラシーレベル)**

2021年度中を目途に、
応用基礎レベルも含めた
第2回認定を実施

(2019年度)
・(文系にも実装可能な)リテラシーレベルの
カリキュラム検討

モデルカリキュラム
第一弾

(2020年度)
・応用基礎レベルの
カリキュラム検討

モデルカリキュラム
第二弾

研究開発体制の再構築に向けた検討

AI戦略2019(令和元年6月:統合イノベーション戦略推進会議決定)抜粋

<大目標>

- 基礎研究から社会実装に至るまでの、本戦略に即した包括的な研究開発サイクルの構築
- 日本がリーダーシップを取れる先端的 A I 技術、標準化における国際イニシアティブの確保
- 本戦略に即した A I 関連中核センター群の強化・抜本的改革を行うとともに、同センター群を中核にしたネットワークを構築することによって、A I 研究開発の日本型モデルを創出し、世界の研究者から選ばれる魅力的な A I 研究拠点化を推進
- 本戦略で掲げた「多様性を内包し、持続可能な発展を遂げる社会」を実現する上で重要な創発研究、基盤的・融合的な研究開発の戦略的な推進
- 世界的レベルの研究人材が自由かつ独創性を発揮して世界をリードできる創発研究の推進
- 世界の英知を結集する研究推進体制の構築

AIステアリングコミッティー

上記の実現に向け、「A I 戦略実行会議を核とした推進体制を確立」⇒「A I ステアリングコミッティー」を設置。

- ① 理化学研究所革新知能統合研究センター（理研AIP）、産業技術総合研究所人工知能研究センター（産総研AIRC）、情報通信研究機構（NICT）ユニバーサルコミュニケーション研究所（UCRI）及び脳情報通信融合研究センター（CiNet）からなるAI関連中核センター群の強化・抜本的改革に資するため、同センター群の研究開発の推進に関するアクションプランを設定・実行
- ② 同センター群を中核に、参画大学・研究機関等からなる「AI研究開発ネットワーク」を構築

A I 戦略の検討・実行体制



統合イノベーション戦略推進会議

議長：官房長官、議長代理：科技大臣

報告 ↑ ↓ 指示

有識者会議 (AI戦略実行会議)

- 座長：安西祐一郎
- 構成員 北野宏明、神成淳司

提言



イノベーション政策強化推進チーム

- チーム長
和泉総理大臣補佐官
- 構成員
各司令塔・各省庁局長・審議官級
- 事務局（イノベーション推進室）

報告 ↑ ↓ 指示

報告 ↑ ↓ 承認

報告 ↑ ↓ 承認

報告 ↑ ↓ 承認

人間中心の A I 社会原則会議

- 議長：須藤修
- 副議長：北野宏明

数理・データサイエンス・AI教育プログラム 認定制度検討会議

- 座長：永田恭介
- 副座長：安宅和人

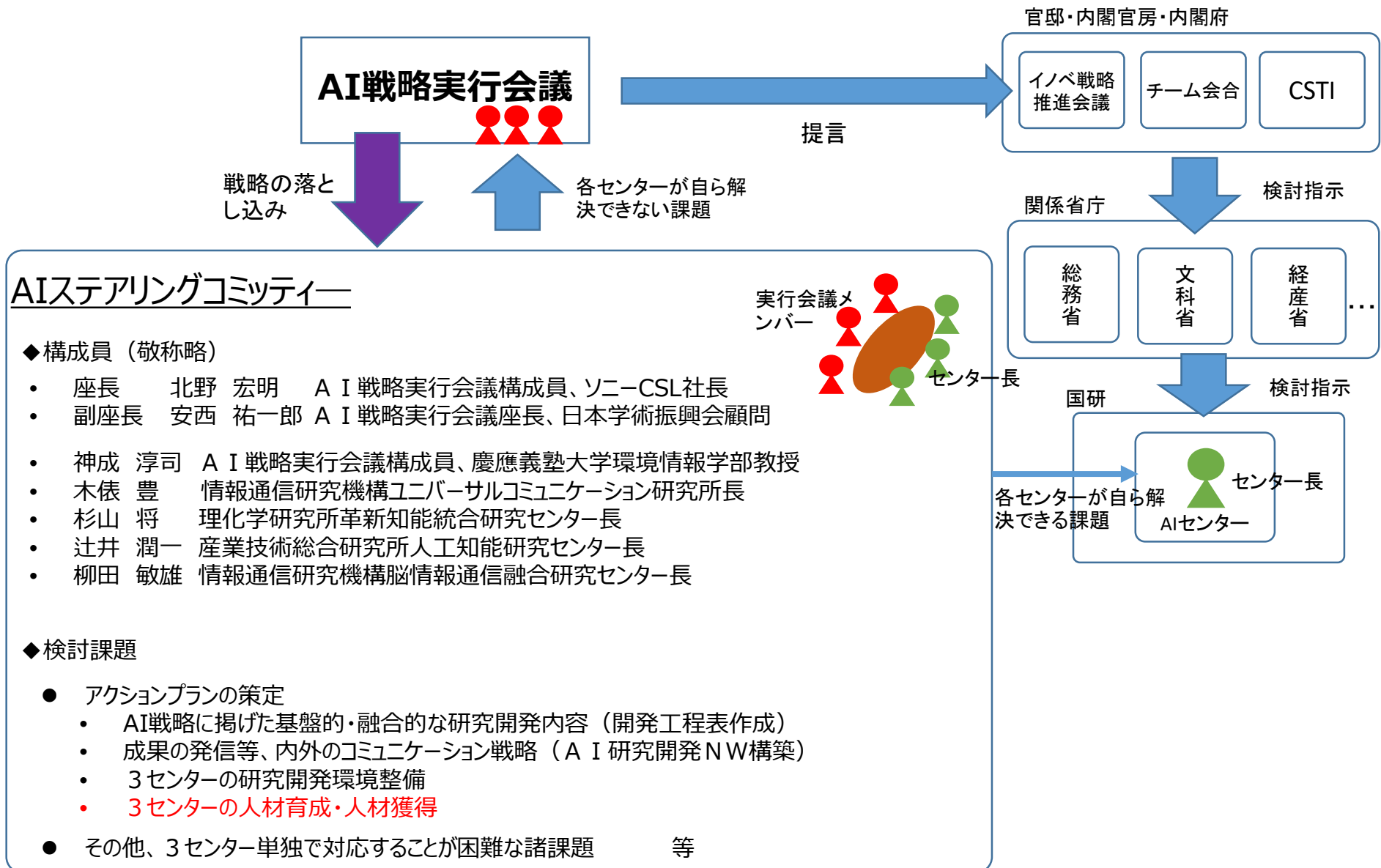
AIステアリングコミ ティー

- 座長：北野宏明
- 副座長：安西祐一郎

A I 戦略 T F

- 関係司令塔・関係省庁の指定職/管理職
- 関係司令塔
CSTI、IT、健康医療、知財、宇宙、海洋
- 関係省庁
総務省、文科省、厚労省、農水省、経産省、
国交省、環境省、防衛省、個情委

AIステアリングコミッティー



「AI研究開発ネットワーク」の立ち上げ

背景

「AI戦略2019（令和元年6月：統合イノベーション戦略推進会議決定）」において、**研究開発状況の意見交換、共同研究形成・人的交流の斡旋、若手研究者支援の実施等**を目的に、AI関連中核センター群及び参画大学・研究機関等からなる「**AI研究開発ネットワーク**」を構築することとされている。

（参考：「AI戦略2019」抜粋）

＜具体目標＞

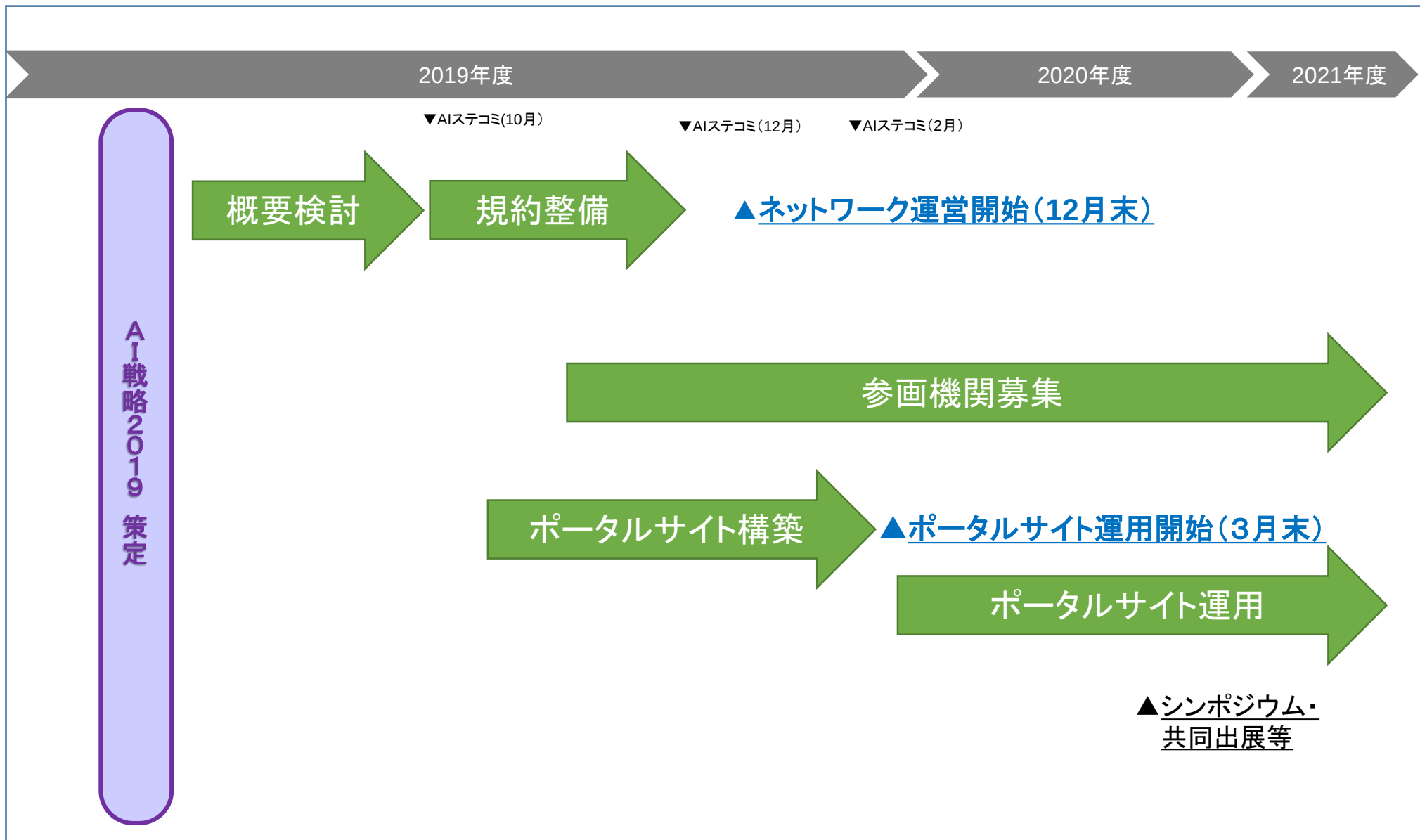
- AI関連中核センター群を中核に、AI研究開発に積極的に取り組む大学・公的研究機関と連携した、日本の英知（実装に強いエンジニア、AI研究者、基礎となる数学・情報科学の研究者を含む）を発掘・糾合し、研究開発等の機会を提供する、本戦略に即した「AI研究開発ネットワーク」の構築

＜取組＞

- 本戦略に即して、前述の推進体制の下で、AI関連中核センター群及び参画大学・研究機関等を束ねる「AI研究開発ネットワーク」の設置（2019年度）【CSTI・総・文・厚・農・経・国】
- 「AI研究開発ネットワーク」におけるAI関連中核センター群の役割の明確化（2019年度）【CSTI・総・文・経】
- 基盤研究と実世界領域の橋渡しを担う産業技術総合研究所において、「AI研究開発ネットワーク」における各機関のAI研究の方向性、連携や調整等の実施、並びに産業界との協働調整にかかる運営事務局を設置（2019年度）【経】
- 「AI研究開発ネットワーク」において、以下のような取組を実施【CSTI・総・文・厚・農・経・国】（取り組み例は省略）

「AIステアリングコミッティー」での検討を踏まえ、本年12月までに立上げる予定

「AI研究開発ネットワーク」構築に向けたスケジュール



大学・国研の出資機能の拡大による 産学官連携の活性化について

令和元年 1 1 月

内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

